

白山の火山活動解説資料（平成 25 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

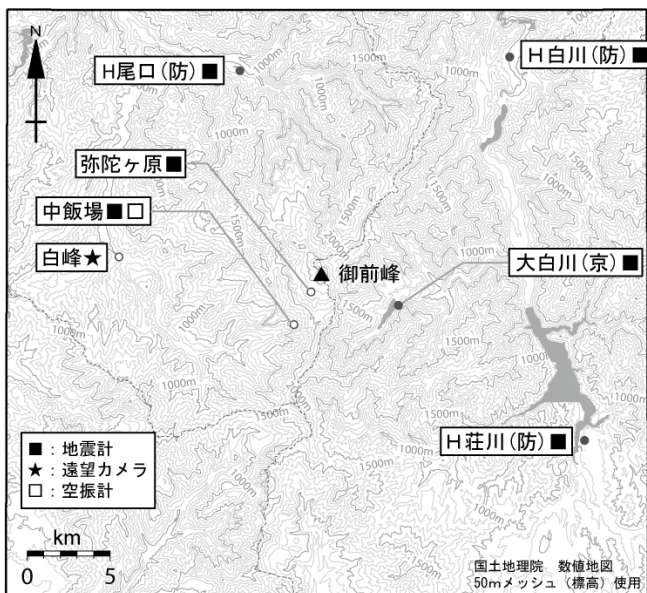
・噴気など表面現象の状況（図 2）

白峰（白山山頂の西約 12km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、視界不良のため不明の期間がありますが、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3、図 4）

今期間、白山付近の地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置図



図 2 白山 山頂部の状況
（10 月 28 日 白峰遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 11 月分）は平成 25 年 12 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

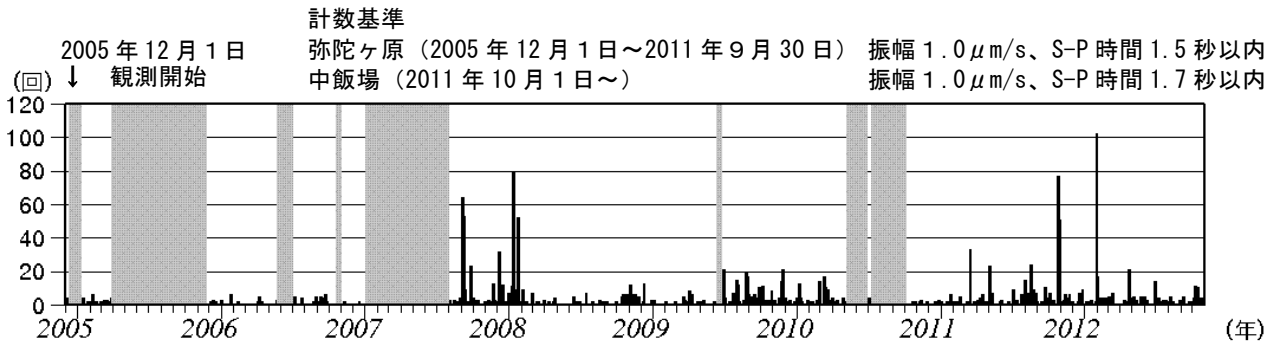


図 3 白山 日別地震回数（2005 年 12 月～2013 年 10 月）

・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

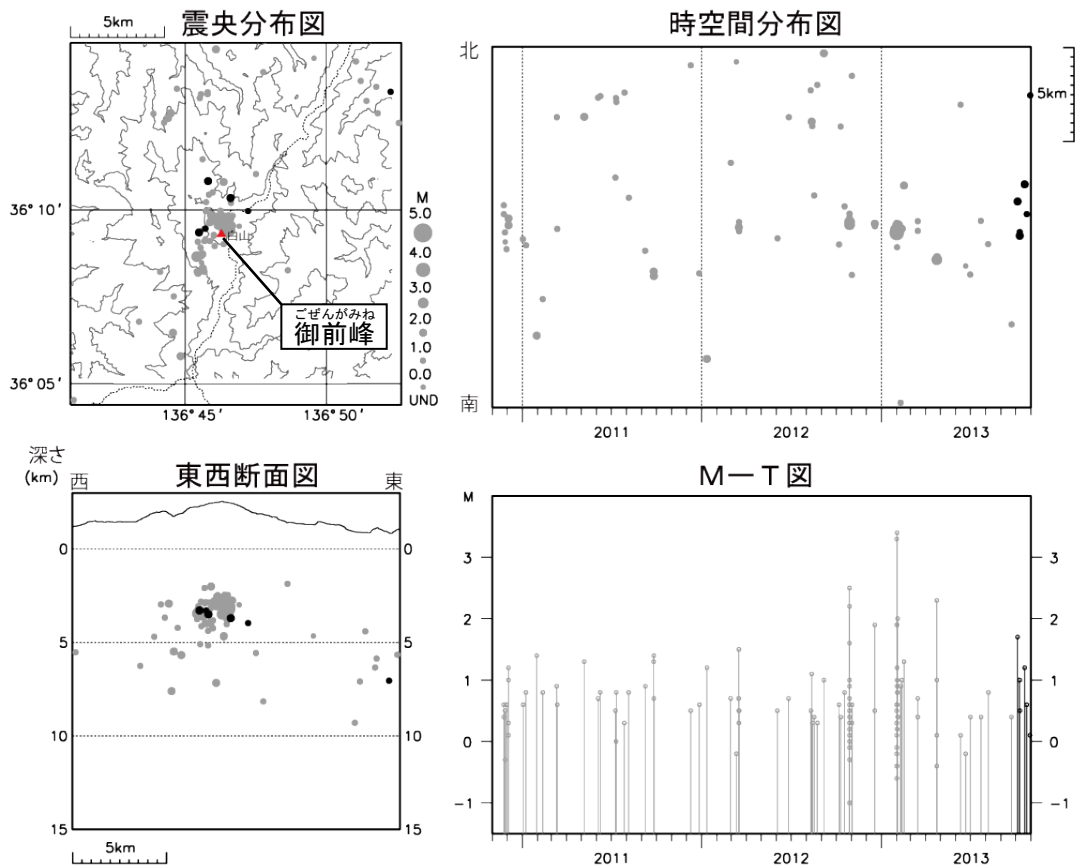


図 4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010 年 11 月 1 日～2013 年 10 月 31 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素の一部は暫定値で、後日変更することがあります。